日本共産党　中野あきと・事務所ニュース

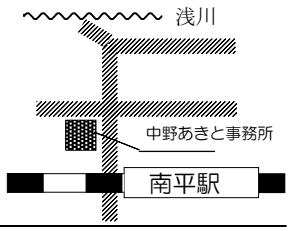
みどりと清流

中野あきと事務所
〒191-0041　日野市南平6-25-1
南平ビル１階
TEL・FAX　042-599-3350
発行責任者　小山　敏正

第183号
2018年
1月号

しんぶん赤旗
日刊紙１ヶ月 3497円
日曜版１ヶ月　823円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



迎春　安倍改憲と市民への負担増に立ち向かう

日頃から「みどりと清流」事務所ニュースをお読みいただき、本当にありがとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。２０１８年の始まりにあたって、私の決意、率直な思いを２つお話しさせていただきたいと思います。

中野あきと

日野市の政治戦について

一つは、差し迫った2月の日野の政治戦のことです。１月6日に行われた日野市の賀詞交換会の挨拶で、市長は「日野市の財政は火の車であり、市民のみなさんに痛みを伴う改革へのご理解をいただかなければならない」と語ったとのことです。毎年２０億円の黒字決算を重ね、80億円を超える自由な貯金、過去最高の貯金総額となっているのに、「火の車」とは理解に苦しむ発言ですが、この発言は私たちが訴えている、何でも値上げ有料化の大計画「第５次行革実施計画」（詳細は前号に掲載）のことを念頭においてのことでしょう。

市民生活に関わって、これから市政が何を行っていこうとしているのか、いよいよ市長自身が認めるところとなりました。文字通り、今度の日野の政治戦の重大な争点です。力を合わせてノーの審判を下そうではありませんか。

元日の高幡不動駅前
中野あきと市議予定候補

振り返ってみると「財政が厳しい」と言って負担を押しつけ、「自己責任」だと言ってさらに人々を追い詰める・・この間の、この政治の常套が、人々の暮らしを痛めつけ、人としての尊厳さえ奪ってきました。

私は、この政治の不遜をあらためさせ、もう終わりにさせたい。誰もが、一度しかない人生を、その人らしく尊厳を持って暮らしていける、そんな当たり前の社会に、そのための政治をつくっていくために、がんばる決意です。

憲法に基づく政治の実現

いま一つは、憲法のことです。安倍首相は年頭の会見で、「憲法改正の議論を加速させたい」「改憲は自民党の歴史的使命だ」とその意をあけすけに語りました。

今年は、戦後73年間にわたって続けてきた憲法９条に基づく平和国家の歩みを続けることができるのか、本当に大切な１年になると思います。

改憲が自民党の歴史的使命というなら、憲法を守り抜くこと、生かす政治をつくっていくことが、共産党に求められる歴史的使命だと自らを鼓舞してがんばる決意です。

憲法に基づく政治の実現めざし、市民と野党の共闘が粘り強く進んでいます。この道をさらに本格的に発展させるために、日野のまちでも大いに、そして誠実に努力を重ねていきたいと思います。

私は、憲法によって、立憲主義によって目指すべき究極の憲法価値は「個人の尊厳」にあると思っています。それは人権保障にとっての基底的原理というだけでなく、第９条をはじめ日本国憲法が採用する全ての価値の基底に置かれる価値だと思っています。そしてその「個人の尊厳」を守ることが政治の一番の仕事だと確信しています。

全力を尽くします。よろしくお願いします。

短信

年末年始は大変である。恒例により子どもたちと孫がやってきた。孫のエネルギーは無尽蔵である。最大音量で泣き叫び、涙の量も半端でない。これが数日間続くので最後は別室に避難だ▼正月といえば、小林一茶は「めでたさもちゅう位なりおらが春」とした。「何がめでたい」と世の中を冷ややかに見ているように思えるが、そうでもないようだ▼この句の前にある文章が大事と言われる。風が吹けば倒れるようなあばら屋は、掃除もしないし、門松も立てない、ありのまま、普段のままで正月を迎えるとし、続けて「ことしの春もあなた任せに迎えたい」としている。ここでの「あなた」は阿弥陀如来のことで、如来に全てお任せするという。めでたいのかどうかというより、普通の気持ちの正月なのだとしている。他力本願ということだろうか▼私も一茶と同様に普通の正月で過ごすのは大歓迎であるが、改憲を声高に叫び、北朝鮮には圧力一辺倒の安倍首相の姿をみると、日本が次第に戦争する国になってしまい、自分の願望だけでは「普通」は危ういと感じる。憲法九条は守らねばと新年に改めて思う▼孫も去り静かだ。正月だ。（H）

要望の解決に全力を尽くします！

中野あきと

昨年11月下旬から地域を回り、様々なご意見、ご要望をいただいています。発表している重点政策は、そうした皆さんの切実なご要望も踏まえまとめたものですが、それ以外にも、地域の具体的な問題点や解決が求められる問題も伺ってきました。

しっかり受け止めて、解決・実現まで全力を尽くします。

以下にその一部をご紹介します（主なミニバス等の要望は重点政策をご覧ください）。

●向川原市営住宅の階段に手すりを
●浅川沿いのトイレ周辺に植栽を
●市民交流センターの事前予約期間の拡大を
●平山城祉公園駅から季重神社への案内柱等の改善を
●平山６丁目の崖線の安全対策を
●土砂災害（特別）警戒区域に指定された方々への相談・支援を
●南平保育園の駐車場の確保、防犯対策を
●南平駅前や周辺地域の治安対策を（巡回や交番の設置）
●南平６丁目に公園を
●猫の糞害対策を
●豊南橋の整備を
●介護職の賃金引き上げと職員増員を
●平山すえしげ館で筋トレなどができる場所の確保を
●学校給食の食材搬入への支援、原油高騰で負担が大変なハウス農家への支援を
●平山１丁目にバス停を
●南平５丁目に引き売り・移動販売車を
●豊田３丁目交差点周辺にバス停の復活を

浅川べりから日没の富士山を望む

３千万人の声を国会に届けよう！安倍改憲NO！署名にご協力を！

※期日は５月末までです。
署名用紙をお届けします。中野あきと事務所

ひと言

★都営アパート併設の市立保育園で、園児送迎時の車を駐車するスペースが足りず、路上駐車でトラブルがおき困っています。（保育園児保護者から）

★地区センターの有料化は絶対に止めてください。いまサークルと健康体操に行っていますが、どちらも地区センターでやっています。幅広い年齢の方が来ています。有料にすると会費を上げざるを得ないので参加の方も少なくなり、運営も大変になってきます。元気の素を奪わないでください。（南平　Mさん）

2018年新春 日本共産党演説会

日時：2月3日（土）午後2時～4時
会場：日野市民会館大ホール

弁士　小池　晃
党書記局長・参議院議員

【市議予定候補】
中野あきと　岡田じゅん子
ちかざわ美樹　大高哲史　清水とし子

ミニバスなどの公共交通の充実を！署名活動始まる！

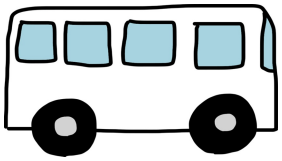
「日野の公共交通を充実させる会」は日野市に「南平地域のミニバスなどの公共交通の充実を求める要望書」を提出しようと、下記のような要望事項の署名活動を開始しました。

急速にすすむ高齢化とともに、丘陵地や台地を抱え坂道が多いという日野市の地形的特徴も重なって、いま市民の中に、ミニバスなど公共交通の充実を求める声が、大きく広がっています。

こうした市民ニーズの高まりを踏まえ、日野市も、これから１年余りかけて公共交通に関する様々な調査や検討をおこない、平成３１年度から新しい公共交通網を 整備・実施していくとの方針を打ち出しています

要望事項

（１）南平５丁目や南平台、南平駅にワゴンタクシーなど公共交通を導入して下さい。
（２）ミニバス南平路線の増便、高幡不動循環の北野街道沿いバス停を設置して下さい。
（３）ミニバス平山循環路線の増便・改善、バス停の充実を図って下さい。



《２０１８年　２月の無料法律相談》
市役所６階　共産党控室　午後１時～３時
2月　8日（木）
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。